

令和6年度

地区調査

上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

事業名	地区調査	相見言観 (21 2)
業務名	上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務	

事業名	地区調査					
業務名	上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務					
業務別業務名:上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務(設計業務)						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 1号 ***					
S02116	情報共有システム月額使用料		月		1,000	各単位 歩A 当たり算出
	情報共有システム月額使用料			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地域資材(P コード)		豪雪補正:なし	亞熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード(P)	P96002		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード(J)			深夜時間:0.0		
	4)施設機械資材単価コード(K)					
P96002	情報共有システム月額使用料	1,000	月	11,100	11,100	
	合 計				11,100	算出数量 1.000 各単位
	単 価				11,100	
	*** S 単 - 2号 ***					
S63003	準備作業		式		1,000	式 歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亞熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.50人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	1.50人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1,000	人	64,800	64,800	
R04004	技師(A)	1,500	人	57,000	85,500	
R04005	技師(B)	2,000	人	47,200	94,400	
R04006	技師(C)	1,500	人	38,400	57,600	
	合 計				302,300	算出数量 1.000 式
	単 価		式		302,300	
	*** S 単 - 3号 ***					
S63003	営農計画の精査		式		1,000	式 歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亞熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	6.00人				
R04003	主任技師	1,000	人	64,800	64,800	
R04004	技師(A)	3,000	人	57,000	171,000	
R04005	技師(B)	4,000	人	47,200	188,800	
R04006	技師(C)	6,000	人	38,400	230,400	
R04007	技術員	6,000	人	33,600	201,600	
	合 計				856,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		856,600	
	*** S 単 - 4号 ***					
S63003	1) 総費用算定		式		1,000	式 歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亞熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				

事業名	地区調査				
業務名	上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務				
業務別業務名:上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務(設計業務)					
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額
	5)技師 B の人数	5.00人			
	6)技師 C の人数	10.00人			
	7)技術員の人数	10.00人			
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800
R04004	技師 (A)	3.000	人	57,000	171,000
R04005	技師 (B)	5.000	人	47,200	236,000
R04006	技師 (C)	10.000	人	38,400	384,000
R04007	技術員	10.000	人	33,600	336,000
	合 計				算出数量 1,191,800 1.000 式
	単 価		式		1,191,800
	*** S 単 - 5号 ***				
S63003	2) 各効果項目算定		式		歩 A 1.000 式 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0	
	4)技師 A の人数	3.00人			
	5)技師 B の人数	6.00人			
	6)技師 C の人数	9.00人			
	7)技術員の人数	9.00人			
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800
R04004	技師 (A)	3.000	人	57,000	171,000
R04005	技師 (B)	6.000	人	47,200	283,200
R04006	技師 (C)	9.000	人	38,400	345,600
R04007	技術員	9.000	人	33,600	302,400
	合 計				算出数量 1,167,000 1.000 式
	単 価		式		1,167,000
	*** S 単 - 6号 ***				
S63003	3) 総費用総便益比算定		式		歩 A 1.000 式 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0	
	4)技師 A の人数	0.50人			
	5)技師 B の人数	2.00人			
	6)技師 C の人数	2.00人			
	7)技術員の人数	0.00人			
R04004	技師 (A)	0.500	人	57,000	28,500
R04005	技師 (B)	2.000	人	47,200	94,400
R04006	技師 (C)	2.000	人	38,400	76,800
	合 計				算出数量 199,700 1.000 式
	単 価		式		199,700
	*** S 単 - 7号 ***				
S63003	土地改良事業計画書(案)及び補足説明資料の作成		式		歩 A 1.000 式 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0	
	4)技師 A の人数	1.00人			

事業名	地区調査					
業務名	上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務					
業務別業務名:上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務(設計業務)						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	5)技師 B の人数	20.00人				
	6)技師 C の人数	25.00人				
	7)技術員の人数	15.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)	20.000	人	47,200	944,000	
R04006	技師 (C)	25.000	人	38,400	960,000	
R04007	技術員	15.000	人	33,600	504,000	
	合 計				2,529,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		2,529,800	
	*** S 単 - 8号 ***					
S63003	1) 対策効果の検証		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	0.00人				
	5)技師 B の人数	2.00人				
	6)技師 C の人数	1.00人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04005	技師 (B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員	1.000	人	33,600	33,600	
	合 計				296,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		296,000	
	*** S 単 - 9号 ***					
S63003	点検とりまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	2.00人				
	5)技師 B の人数	6.00人				
	6)技師 C の人数	6.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師 (A)	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師 (B)	6.000	人	47,200	283,200	
R04006	技師 (C)	6.000	人	38,400	230,400	
	合 計				757,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		757,200	
	*** S 単 - 10号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.2			冬期補正:なし		
	日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				

事業名	地区調査					
業務名	上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務					
業務別業務名:上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務(設計業務)						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04003	主任技師			0.700 人	64,800	45,360
R04004	技師(A)			0.700 人	57,000	39,900
	合 計					算出数量 85,260 1.000 回
	単 価		回			85,260
	*** S 単 - 11号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回			歩A 1.000 回 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額)				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0
	一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.2日				夜間制約作業時間:0.0	冬季補正:なし
	1)設計工種	一般工種			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし
	2)打合せ	中間			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0
	3)設計用主任技師人数	0.00人			深夜時間:0.0	
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04004	技師(A)			0.700 人	57,000	39,900
R04005	技師(B)			0.700 人	47,200	33,040
	合 計					算出数量 72,940 1.000 回
	単 価		回			72,940
	*** S 単 - 12号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回			歩A 1.000 回 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費)				時間的制約:なし	制約作業時間:0.0
	一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,,				夜間制約作業時間:0.0	冬季補正:なし
	L < 100km (100km未満)				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし
	1)設計工種	一般工種			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0
	2)打合せ内容	着手前・最終			深夜時間:0.0	
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.20日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	1,562円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)				
P54306	鉄道料金 消費税抜き			2.000 人	1,562	3,124
	合 計					算出数量 3,124 1.000 回
	単 価		回			3,124
	*** S 単 - 13号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回			歩A 1.000 回 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費)				時間的制約:なし	制約作業時間:0.0
	一般工種,中間,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,, L < 100km				夜間制約作業時間:0.0	冬季補正:なし
	(100km未満)				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし
	1)設計工種	一般工種			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0
	2)打合せ内容	中間			深夜時間:0.0	
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				

事業名	地区調査	施工単価表 単価表A (5/ 5)				
業務名	上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務					
業務別業務名:上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務(設計業務)						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	5)技術B配置人員	1人				
	6)技術C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.20日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	1,562円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	1,562	3,124	
	合 計				3,124	算出数量 1.000 回
	单 価		回		3,124	
	*** S 単 - 14号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A - 4, 1000, 10cm, 0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし	豪雪補正:なし	
	2)規格区分	A - 4		基本給時間:8.0	基本給時間:8.0	
	3)枚数区分(枚)	1000		深夜時間:0.0	深夜時間:0.0	
	4)厚さ区分	10cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43504	報告書焼付代(コピ -) A - 4 以下 1 0 0 0 枚	1.000	部	12,700	12,700	
P43544	簡易加除式ファイル A 4 縦型幅10cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	684	684	
P43602	C D - R C D - R(記録面色素フタロシアニン) 7 0 0 MB	0.000	枚	42	0	
	合 計				13,384	算出数量 1.000 式
	单 価		式		13,384	

事業名	地区調査					
業務名	上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務					
業務別業務名:上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務(測量業務)						
コード	名 称(規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
S02116	*** S 単 - 1号 *** 浮遊性物質量 (SS) 浮遊性物質量 (SS)					
S02116	*** S 単 - 2号 *** 濁度 濁度		検体	1,900		歩A・単A
S63002	*** S 単 - 3号 *** 1) 実証ほ場の調査準備 測量業務基準日額 0.00人, 1.00人, 0.00人, 2.00人, 2.00人, 0日, 0.44日		式	73,964		歩A・単A
S63002	*** S 単 - 4号 *** 2) 実証ほ場の管理(4月~12月(9回)) 測量業務基準日額 0.00人, 0.00人, 0.00人, 9.00人, 18.00人, 0日, 0.44日		式	342,144		歩A・単A
S63002	*** S 単 - 5号 *** 3) 降雨時表面流出水の水質調査(5回) 測量業務基準日額 0.00人, 0.00人, 0.00人, 5.00人, 5.00人, 0日, 0.44日		式	133,100		歩A・単A
S63002	*** S 単 - 6号 *** 4) 実証ほ場の片付け 測量業務基準日額 0.00人, 0.00人, 1.00人, 2.00人, 2.00人, 0日, 0.44日		式	69,476		歩A・単A
S63008	*** S 単 - 7号 *** 1) 実証ほ場の調査準備 測量労務(直接人件費外業)		式	168,100		歩A・単A
S63008	*** S 単 - 8号 *** 2) 実証ほ場の管理(4月~12月(9回)) 測量労務(直接人件費外業)		式	388,800		歩A・単A
S63008	*** S 単 - 9号 *** 3) 降雨時表面流出水の水質調査(5回) 測量労務(直接人件費外業)		式	151,250		歩A・単A
S63008	*** S 単 - 10号 *** 4) 実証ほ場の後片付け 測量労務(直接人件費外業)		式	78,950		歩A・単A
X63002	*** X 単 - 1号 *** 精度管理費集計					
X63004	*** X 単 - 2号 *** 旅費交通費(測量外業日帰用) 旅費交通費(測量外業日帰用) ライトバン, 1日, 3時間		式	0		歩A・単A
X63004	*** X 単 - 3号 *** 旅費交通費(測量外業日帰用) 旅費交通費(測量外業日帰用) ライトバン, 1日, 3時間		式	4,998		歩A・単A
X63004	*** X 単 - 4号 *** 旅費交通費(測量外業日帰用) 旅費交通費(測量外業日帰用) ライトバン, 1日, 3時間		式	4,998		歩A・単A
X63004	*** X 単 - 5号 *** 旅費交通費(測量外業日帰用) 旅費交通費(測量外業日帰用) ライトバン, 1日, 3時間		式	4,998		歩A・単A
T00002	*** T 単 - 1号 *** 1) 実証ほ場の調査準備 ライトバン, 1日, 3時間		回	4,998		歩A・単A
T00003	*** T 単 - 2号 *** 2) 実証ほ場の管理(4月~12月) ライトバン, 1日, 3時間		回	4,998		歩A・単A
T00004	*** T 単 - 3号 *** 3) 降雨時表面流出水の水質調査 ライトバン, 1日, 3時間		回	4,998		歩A・単A
T00005	*** T 単 - 4号 *** 4) 実証ほ場の後片付け ライトバン, 1日, 3時間		回	4,998		歩A・単A

事業名	地区調査					
業務名	上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務					
業務別業務名:上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務(測量業務)						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 1号 ***					
S02116	浮遊性物質量 (SS)		検体		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	浮遊性物質量 (SS)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード (P)	地域資材 (Pコード) P96001		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード (J)			深夜時間:0.0		
	4)施設機械資材単価コード (K)					
P96001	浮遊性物質量 (SS)	1.000	検体	1,900	1,900	
	合 計				1,900	算出数量 1.000 各単位
	単 価				1,900	
	*** S 単 - 2号 ***					
S02116	濁度		検体		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	濁度			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード (P)	地域資材 (Pコード) P96002		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード (J)			深夜時間:0.0		
	4)施設機械資材単価コード (K)					
P96002	濁度	1.000	検体	700	700	
	合 計				700	算出数量 1.000 各単位
	単 価				700	
	*** S 単 - 3号 ***					
S63002	1)実証ほ場の調査準備		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	測量業務基準日額 0.00人, 1.00人, 0.00人, 2.00人, 2.00人, 0日, 0.44日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)測量主任技師人数 2)測量技師人数	0.00人 1.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)測量技師補助人数 4)測量助手人数	0.00人 2.00人		深夜時間:0.0		
	5)測量補助員 6)打合せ日数	2.00人 0.000日				
	7)往復移動日数	0.440日				
R04023	測量技師	0.440	人	47,100	20,724	
R04025	測量助手	0.880	人	34,600	30,448	
R04032	測量補助員	0.880	人	25,900	22,792	
	合 計				73,964	算出数量 1.000 式
	単 価		式		73,964	
	*** S 単 - 4号 ***					
S63002	2) 実証ほ場の管理 (4月 ~ 12月 (9回))		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	測量業務基準日額 0.00人, 0.00人, 0.00人, 9.00人, 18.00人, 0日, 0.44日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)測量主任技師人数 2)測量技師人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)測量技師補助人数 4)測量助手人数	0.00人 9.00人		深夜時間:0.0		
	5)測量補助員 6)打合せ日数	18.00人 0.000日				
	7)往復移動日数	0.440日				
R04025	測量助手	3.960	人	34,600	137,016	
R04032	測量補助員	7.920	人	25,900	205,128	
	合 計				342,144	算出数量 1.000 式
	単 価		式		342,144	

事業名	地区調査					
業務名	上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務					
業務別業務名:上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務(測量業務)						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 5号 ***					
S63002	3) 降雨時表面流出水の水質調査(5回)		式		1,000	歩A 1.000式当たり算出
	測量業務基準日額 0.00人,0.00人,0.00人,5.00人,5.00人,0日,0.44日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)測量主任技師人数 2)測量技師人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)測量技師補人数 4)測量助手人数	0.00人 5.00人		深夜時間:0.0		
	5)測量補助員 6)打合せ日数	5.00人 0.000日				
	7)往復移動日数	0.440日				
R04025	測量助手	2.200	人	34,600	76,120	
R04032	測量補助員	2.200	人	25,900	56,980	
	合 計				133,100	1.000式 算出数量
	単 価		式		133,100	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63002	4) 実証ほ場の片付け		式		1,000	歩A 1.000式当たり算出
	測量業務基準日額 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,2.00人,0日,0.44日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)測量主任技師人数 2)測量技師人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)測量技師補人数 4)測量助手人数	1.00人 2.00人		深夜時間:0.0		
	5)測量補助員 6)打合せ日数	2.00人 0.000日				
	7)往復移動日数	0.440日				
R04024	測量技師補	0.440	人	36,900	16,236	
R04025	測量助手	0.880	人	34,600	30,448	
R04032	測量補助員	0.880	人	25,900	22,792	
	合 計				69,476	1.000式 算出数量
	単 価		式		69,476	
	*** S 単 - 7号 ***					
S63008	1) 実証ほ場の調査準備		式		1,000	歩A 1.000式当たり算出
	測量労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技師の人数 2)技師の人数	0.00人 1.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)技師補の人数 4)助手の人数	0.00人 2.00人		深夜時間:0.0		
	5)補助員の人数 6)操縦士の人数	2.00人 0.00人				
	7)整備士の人数 8)撮影士の人数	0.00人 0.00人				
	9)撮影助手の人数 10)測量船操縦士の人数	0.00人 0.00人				
R04023	測量技師 外業	1.000	人	47,100	47,100	
R04025	測量助手 外業	2.000	人	34,600	69,200	
R04032	測量補助員 外業	2.000	人	25,900	51,800	
	合 計				168,100	1.000式 算出数量
	単 価		式		168,100	
	*** S 単 - 8号 ***					
S63008	2) 実証ほ場の管理(4月~12月(9回))		式		1,000	歩A 1.000式当たり算出
	測量労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技師の人数 2)技師の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名	地区調査					
業務名	上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務					
業務別業務名:上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務(測量業務)						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** X 単 - 1号 ***					
X63002	精度管理費集計		式		1,000	歩A 当たり算出
	精度管理費集計			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)精度管理費(自動集計)	0.000		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
P53024	精度管理費	1.000	式	0	0	
	合 計				0	算出数量 1,000 式
	単 価				0	
	*** X 単 - 2号 ***					
X63004	旅費交通費(測量外業日帰用)		式		1,000	歩A 式 当たり算出
	旅費交通費(測量外業日帰用) ライトバン,1日,3時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)高速道路往復料金(税別)	1,818円		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)鉄道往復1人当料金(税別)	0円		深夜時間:0.0		
	4)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数	1日				
	8)時間区分	3時間				
	9)測量技師外業日数	1,000日				
	10)測量技師補外業日数	0,000日				
	11)測量助手外業日数	1,000日				
	12)測量補助員外業日数	1,000日				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	1,818	1,818	
M28121	ライトバン[二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,900	1,900	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	8.100	L	158	1,280	
	合 計				4,998	算出数量 1,000 式
	単 価		式		4,998	
	*** X 単 - 3号 ***					
X63004	旅費交通費(測量外業日帰用)		式		1,000	歩A 式 当たり算出
	旅費交通費(測量外業日帰用) ライトバン,1日,3時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)高速道路往復料金(税別)	1,818円		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)鉄道往復1人当料金(税別)	0円		深夜時間:0.0		
	4)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数	1日				
	8)時間区分	3時間				
	9)測量技師外業日数	0,000日				
	10)測量技師補外業日数	0,000日				
	11)測量助手外業日数	0,500日				
	12)測量補助員外業日数	0,500日				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	1,818	1,818	
M28121	ライトバン[二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,900	1,900	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	8.100	L	158	1,280	
	合 計				4,998	算出数量 1,000 式
	単 価		式		4,998	
	*** X 単 - 4号 ***					
X63004	旅費交通費(測量外業日帰用)		式		1,000	歩A 式 当たり算出
	旅費交通費(測量外業日帰用) ライトバン,1日,3時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)高速道路往復料金(税別)	1,818円		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

令和 6 年度地区調査

上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務

特 別 仕 様 書

九州農政局

北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

(適用範囲)

第1－1条 令和6年度地区調査 上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務の施行に当たっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）及び「測量業務共通仕様書」（以下「測量共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

第1－2条 本業務は、地区調査「上場地区」の実施に当たり、事業計画策定の一環として、営農計画の策定、経済効果の算定及び土地改良事業計画書（案）の作成等を行うものである。

(場所)

第1－3条 本業務において対象とする位置は、佐賀県唐津市及び東松浦郡玄海町地内で、別添位置図に示すとおりである。

(土地への立入り等)

第1－4条 作業実施のための土地の立入り等は、測量共通仕様書第16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第1－5条 本業務の受注にあたり、予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。なお、業務完了検査時までに提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- (1) 審査項目a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査項目d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備 等

(一般事項)

第1－6条 業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 業務実施の順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、業務の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有するものとす

る。

(3) 受注者は業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第1－7条 管理技術者は、共通仕様書第1－6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次の表のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学 農業－農村地域計画 農業－農村地域・資源計画
	農業	農業土木、農業農村工学、農村地域計画、農村地域・資源計画
博士	当該業務に関連する学術部門	－
ｼﾋﾞﾙｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞﾏﾈｼﾞｬｰ	農業土木	－

(担当技術者)

第1－8条 担当技術者は、共通仕様書第1－8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1－9条 共通仕様書第1－11条及び測量共通仕様書第11条における業務組織計画の作成並びに共通仕様書第1－12条及び測量共通仕様書第12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする

(1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

(2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第1－10条 受注者は、共通仕様書第1－37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提出しなければならない。

第2章 作業条件

(適用する図書)

第2－1条 本業務の基本的事項に関しては、次の基準・指針等を優先して適用する。他の図

書を適用する場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改定)年月
1	農業農村整備事業計画作成便覧	農業農村整備事業計画研究会	平成 15 年 8 月
2	新たな土地改良の効果算定マニュア (改訂版)	大成出版社	平成 27 年 9 月
3	国営土地改良事業調査計画マニュアル	農業土木事業協会	平成 5 年 3 月

(設計及び作業条件)

第 2-2 条 本業務における設計及び作業条件は、次のとおりである。

○受益面積：3,186 ha (内訳：田 1,665 ha、畑 1,521 ha)

○施設概要：松浦川揚水機場他 11 機場、後川内ダム他 4 ダム、ファームポンド (32 カ所)、幹線水路 94.3 km、水管理施設一式

(参考図書)

第 2-3 条 設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第 2-1 条によるものとする。

(貸与資料等)

第 2-4 条 貸与資料は、次のとおりである。

分 類	資 料 名	数量
調査関係資料	令和 4 年度地区調査 上場地区営農計画・経済効果算定業務 報告書	1 式
	令和 5 年度地区調査 上場地区営農計画及び経済効果算定その他業務 報告書	1 式
	令和 5 年度地区調査 上場地区一定地域整理その他業務 報告書	1 式
その他	国営土地改良事業計画書の記載方法 (農業用用排水) 令和 5 年 8 月	1 式
	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1 式

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第 2-5 条 第 2-3 条及び第 2-4 条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

(1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

(2) 参考図書は、作業時点の最新版を用い作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。

(3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

(4) 第2-4条に示す資料以外の貸与資料がある場合には、その旨監督職員から指示する。

(関連業務)

第2-6条 本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた設計としなければならない。

番号	業務名	業務実施期間(予定)
1	令和6年度地区調査 上場地区事業計画書（案）他とりまとめ業務	令和6年4月～令和7年3月
2	令和6年度地区調査 上場地区受益面積データベース作成その他の業務	令和6年4月～令和7年2月
3	令和6年度地区調査 上場地区施設整備計画資料作成他業務（仮称）	令和6年4月～令和7年2月

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条 本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は別紙1【作業項目内訳表】に示すものとする。

【作業項目表】

作業項目	数量	備考
1. 準備作業	1式	
2. 営農計画の精査	1式	
3. 経済効果の算定	1式	
4. 土地改良事業計画書（案）及び補足説明資料の作成	1式	
5. 実証ほ場における耕土流出抑制対策試験	1式	
6. 点検とりまとめ	1式	

(作業の留意点)

第3-2条 設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-3条、第2-4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 業務履行中において、一部成果物の提出を求めることがあるが、受注者はこれに協力するものとする。
- (4) 共通仕様書第1-11条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないものとする。

(業務写真における黒板情報の電子化)

第3－3条 黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得た上で黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（1）から（4）によりこれを実施するものとする。

（1）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト)」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（2）機器等の導入

- ア 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- イ 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（3）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- ア 受注者は、（1）の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- イ 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記アに示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

- ウ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（4）写真の納品

受注者は、（3）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品URL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

（5）費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 業務管理

(情報共有システム)

- 第4－1条 (1) 本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより事務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。
- (2) 情報共有システムは「工事及び業務の情報共有システム活用要領」（農林水産省Webサイト参照）によるものとする。
- (3) 受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うために聞き取り調査等を求められた場合、これに協力しなければならない。

第5章 打合せ

(打合せ)

第5－1条 共通仕様書第1－10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ（営農計画の精査段階）

第3回 中間打合せ（各効果項目の算定、実証ほ場における耕土流出抑制対策試験の対策効果の検証段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

打合せ方法については、対面方式からWeb方式に変更する場合がある。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第6章 成果物

(成果物)

第6－1条 成果物を共通仕様書第1－17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

(1) 成果物の電子媒体（CD-R等） 正副2部

(2) 成果物の出力 1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

(成果物の提出先)

第6－2条 成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県久留米市荒木町白口891-20

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第7章 契約変更

(契約変更)

第7－1条 業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2－2条に示す「設計及び作業条件」に変更が生じた場合
- (2) 第3－1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合
- (3) 第5－1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- (4) 第6－1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (5) 履行期間の変更が生じた場合
- (6) その他

第8章 定めなき事項

(定めなき事項)

第8－1条 この特別仕様書に定めなき事項又は、この業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【作業項目内訳表】

I. 設計業務

作業項目	作業内容
1. 準備作業	貸与資料の内容を把握し、業務計画を樹立する。
2. 営農計画の精査	令和5年度地区調査 上場地区営農計画及び経済効果算定その他業務にて検討した上場地区営農計画(案)について、令和6年度上場地区土地改良事業推進協議会営農検討部会の検討結果等を踏まえて更新し精査する。
3. 経済効果の算定	<p>1) 総費用算定 令和6年度地区調査 上場地区事業計画書(案)他とりまとめ業務(仮称)等で検討される本事業及び当該受益地域内で一体的に効用が発揮される施設の事業費を整理し、総費用の精査を行う。</p> <p>2) 各効果項目算定 令和5年度地区調査 上場地区営農計画及び経済効果算定その他業務により算定された各効果項目について、発注者が提供する最新年度の受益面積・作物単価・単収・人件費・諸係数通達等を基に更新を行うことにより、各効果の年効果額の精査を行う。</p> <p>3) 総費用総便益比算定 上記精査された総費用・年効果額により、総費用総便益比及び所得償還率の精査を行う。</p>
4. 土地改良事業計画書(案)及び補足説明資料の作成	本業務及び関連業務成果等を基に、国営土地改良事業計画書の記載方法に基づき「第3章第5節 地域農業の概況(第6表-1・2・3・4・5)、第4章第2節 営農計画及び土地利用計画(第8表-1・2・3・4)、第10章 効用(第17表)」の(案)及び補足説明資料の作成を行う。
5. 実証ほ場における耕土流出抑制対策試験(詳細は別紙2参照)	<p>1) 対策効果の検証 降雨時表面流出水の分析結果(S S、濁度)及び気象庁等の雨量データを整理するとともに、水質結果等からグリーンベルトの対策効果の検証を行う。</p>
6. 点検とりまとめ	各作業項目(II. 測量業務「5. 実証ほ場における耕土流出抑制対策の試験」を含む)の成果資料の点検及びとりまとめを行い、報告書を作成する。

別紙 1

【作業項目内訳表】

II. 測量業務

作業項目	作業内容
5. 実証ほ場における耕土流出抑制対策試験（詳細は別紙2参照）	
1) 実証ほ場の調査準備	耕土流出抑制対策現地実証（3区画）のため、グリーンベルト作物（2種類（ローズグラス、スーダングラス））の播種（2区画（1区画当たり 4m ² 程度））等を行う（畔波板、監視カメラ、排水枠及び排水路設置済み）。
2) 実証ほ場の管理	勾配方向に設置されている畦波板により3区画に等分割した実証ほ場の管理を行う。また、水質調査結果への反映のため、排水枠の土壤の堆積状況を把握する。
3) 降雨時表面流出水の水質調査	各区の排水枠に流出する降雨時表面流出水を採水し、水質調査（SS・濁度）を行う（採水は5回、15検体を想定）。
4) 実証ほ場の後片付け	ほ場の管理終了後、畔波板、監視カメラ、排水枠及び排水路は存置し、ほ場の植物残渣等の処理を行う。

実証ほ場における耕土流出抑制対策試験

I 調査計画

上場地区から流出している耕土の流出抑制対策に資するため、実証調査ほ場においてグリーンベルトの対策効果の把握調査を次のとおり実施する。

II 実施内容

1. 実証ほ場における耕土流出抑制対策の試験

(1) 実証ほ場の概要

- ・調査場所：佐賀県唐津市鎮西町中野（別添 位置図実証ほ場）
- ・ほ場面積：約 276m² (L23m × W12m)



図-1 実証ほ場位置

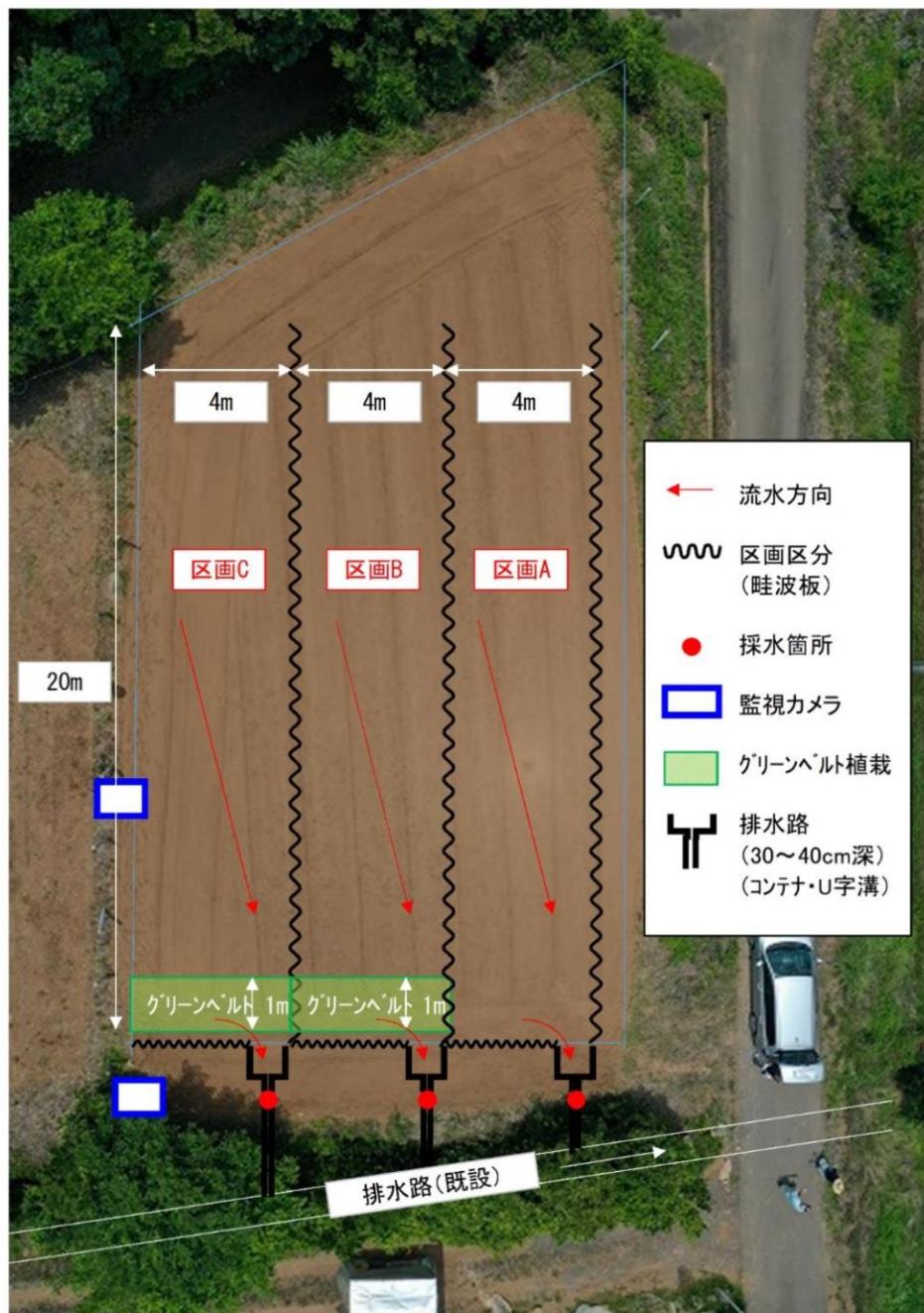


図-2 実証ほ場の概要

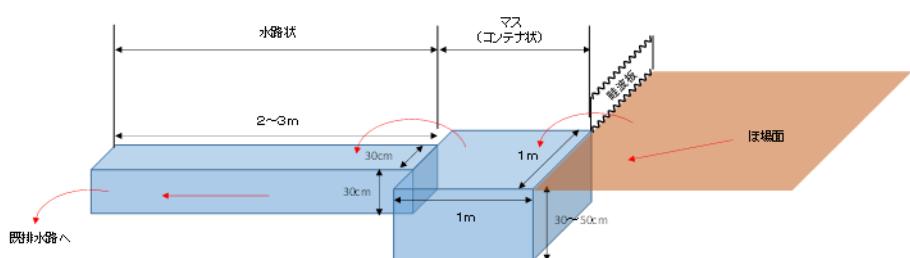


図-3 深掘り箇所のイメージ

(2) 実証ほ場の調査準備

実証ほ場において、調査を実施するために、グリーンベルト部分の整地作業、排水枠及び排水路の土砂上げ、グリーンベルト作物（ローズグラス、スーダングラス）の播種、監視カメラの動作確認等を行う。播種作業については、グリーンベルト内にむらのないように均一に播種する。また、種子については、発注者側から支給する。なお、畔波板、監視カメラ、排水枠及び排水路については、設置済みである。

(3) 実証ほ場の管理

1) ほ場の管理内容（4月～12月：計9回（月1回））

- ① グリーンベルト作物の刈取り及びほ場周辺の草刈りを行う。ただし、4月はグリーンベルト作物の刈取りは除く。
- ② 排水枠の土壤の堆積状況を把握するとともに、排水枠及び排水路の泥上げを行う。
- ③ グリーンベルト作物の生育状況を把握する。

(4) 降雨時表面流出水の水質調査（5月～12月）

降雨時におけるほ場からの表面流出水を採水し、水質調査（SS、濁度）を行う。採水時期については、降雨状況、気象予報等を基に監督職員が別途指示する。

水質調査項目は、SS、濁度、採水は1回あたり区画A、B、Cの3区とし、1降雨あたり1回の採水を基本とし、5回の採水を行うことから、検体数は分析項目毎に15検体を想定している。ただし、降雨状況等により採水回数を変更する場合は別途監督職員が指示する。

(5) 実証ほ場の後片付け

ほ場の管理終了後、設置済みの畔波板、監視カメラ、排水枠及び排水路は存置とし、ほ場の植物残渣等の処理を行う。

(6) 対策効果の検証

調査結果データについて、各区画からの降雨による流出水のSS、濁度及び排水枠の土壤の堆積状況の比較より対策効果を検証し、報告書（6. 点検とりまとめ）に整理する。

水質分析に関する内容は、以下のとおり。

【調査ケース】

「裸地（比較対象）」、「ローズグラス」、「スーダングラス」の計3ケースとする。

- ・区画A：裸地（比較対象）
- ・区画B：ローズグラス
- ・区画C：スーダングラス

1) 調査内容

①表面流出負荷量調査

降雨時におけるほ場からの表面流出水のSS、濁度を把握する。

水質調査項目は、SS、濁度、採水は1降雨あたり1回を基本とし計5回、1採水当たり3区画、検体数は分析項目ごとに15検体を想定。

②降雨量調査

気象庁等の気象観測データより、降水量を整理する。

気象観測データは、ほ場近隣の「佐賀県上場営農センター」等のデータを用いて整理する。

別添

令和6年度地区調査 上場地区営農計画策定及び経済効果算定その他業務 位置図

